
*
* 昭和 61 年度事業報告書および
* 昭和 62 年度事業計画書
*

大阪市南区難波 2 丁目 3 番 26 号

財団法人 川口交通遺児育英会

昭和61年度 事業報告書

I 事業の状況

1. 育英奨学資金の貸与事業

前事業年度とほぼ同様の募集方法に拠ったものであるが、採用については、申込のあった者に対し、面接の上条件が合致していれば、すべて奨学生として採用することを基本方針とした。

この結果、大阪府教育委員会、各高等学校、中学校、大阪青年会議所等の協力も得て本年も予算の33%の奨学貸与事業を実施することが出来た。

	1年生	2年生	3年生 (高専の4年生含む)	計
高等学校奨学生 高専の1～4 年生を含む	11	10	12	33
同上貸与金額	1,980,000	1,650,000	2,160,000	5,790,000

なお、次年度の予約奨学生数（62年4月より高校に進学し、貸与を開始する予定の申込決定者。） 合計 10名

2. 入学資金の貸与事業

入学資金貸与事業は20名の貸与者を目標として実施し、特に公立学校入学者に対しても貸与を実施することにしたものの、数字的には5名に貸与したのみの結果となった。

3. 交通遺児に対する補導教育等の事業

(1) 川口財団憩の家の運営

61年7月中旬より8月下旬までの期間、例年どおり川口財団憩の家を交通遺児並びにその保護者に開放して運営を行なった。

2泊3日の利用により、日常家庭的な行事を持つ機会の少ない遺児たちにその十分な機会を提供する目的で実施しているものであるが、レジ

ャー等の多様化に伴ない年々利用者が減少しつつあり、本年度は僅かに利用者は1家族のみであった。なお、この事業の運営並びに遺児の世話については、引続き瀬堂雅夫氏の御協力を得ている。

(2) J C青年の船への参加

社団法人日本青年会議所主催による第16回J C青年の船(昭和61年6月9日から12日間の船旅)に、当財団より下記の奨学生OB2名と、財団法人大阪交通災害遺族会の4名が参加した。青年としての広い視野と国際性を体得し、且つ楽しい思い出を持つことが出来た。

尚、次年度にも参加出来るよう社団法人大阪青年会議所の協力を得て、今年も財団奨学生、奨学生OB全員並びに、財団法人大阪交通災害遺族会に案内状を発送し、次の4名の申し込みがあり、面接の結果その全員を推薦することとした。

第16回 青年の船参加者

(氏名)	(年齢)	(勤務先)
友田大志	29	大阪府福島警察署
田中政弘	21	学生
早川秀樹	22	
戴裕美子	26	(株)リンデンアベニュー
西尾弘之	21	
相根小百合	19	学生

第17回 青年の船推薦者

(氏名)	(年齢)	(勤務先)
山崎勝己	20	学生
寺西やよい	20	フクトク相互銀行
高橋哲朗	20	学生
吉本昌弘	29	トライオン(株)

以上

Ⅱ 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

昭和61年度末現在役員等

役名	氏名	就任年月日	担当業務	手当	現職
理事長	川口正昭	46.5	法人の代表及び事務の総理	—	神戸大学教授
副理事長	中谷洋一	46.5	理事長職務の補佐	—	公認会計士
理事	竹谷新	49.6	特になし	—	帝国女子大教授
〃	桜井良文	49.6	〃	—	阪大教授
〃	平岡英信	51.1	〃	—	清風学園校長及仏教大学講師
〃	大津濟	52.5	〃	—	住友信託銀行(株)顧問
〃	更家悠介	61.5	〃	—	サラヤ(株)専務取締役
監事	筒井陽太郎	57.11	〃	—	中谷会認会計士事務所総務
〃	別所弘嗣	61.5	〃	—	住友信託銀行(株) 本店営業推進部長
評議員	高木修二	46.5	〃	—	阪大教授
〃	竹之内修	46.5	〃	—	阪大教授
〃	今永智一郎	46.5	〃	—	
〃	森本年	59.5	〃	—	(社)大阪青年会議所事務局長
〃	谷武	59.5	〃	—	中谷公認会計士事務所総務部長
〃	田中善彦	61.5	〃	—	(株)中善 代表取締役
〃	松村博	61.5	〃	—	マツムラ店舗設計室
〃	左藤章	61.5	〃	—	
〃	古藤二三夫	61.5	〃	—	(株)古藤建築事務所取締役副社長
〃	山口一儀	61.5	〃	—	料亭やまぐち代表者
〃	本田福丸	61.5	〃	—	(財)大阪交通災害遺族会理事長
〃	八木俊三	61.5	〃	—	(財)大阪交通災害遺族会事務局長
〃	橘亮介	61.5	〃	—	住友信託銀行(株)阪急梅田支店長
〃	岡田義則	61.5	〃	—	住友信託銀行(株)財務相談課長

2. 職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	担当業務	手当	備考
一般事務	大星としこ	58. 9. 1	事務処理 全 般	月額50,000円 賞与 年2ヶ月	
	林 由紀子	60. 4. 1	同 上		

(注) 上記の他、前期同様学生アルバイト等を臨時的に依頼した。

3. 会議に関する事項

(1) 理 事 会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
昭和61年5月23日	1. 昭和60年度事業報告書承認の件	承認
	2. 昭和60年度収支計算書承認の件	〃
	3. 理事及び監事の役員改選の件	〃
	4. 理事長、副理事長選任の件	〃
	5. 評議員改選の件	〃
	6. 入学資金貸付規程改正の件	〃
昭和62年3月26日	1. 昭和62年度収支予算書承認の件	承認
	2. 昭和62年度事業計画案承認の件	〃

(2) 評 議 員 会

開 催 年 月 日	議 事 事 項	結 果
昭和 6 1 年 5 月 2 3 日	<ol style="list-style-type: none">1. 昭和 6 0 年度事業報告書承認の件2. 昭和 6 0 年度収支決算書承認の件3. 理事及び監事選任の件4. 入学資金貸付規定改正の件	承 認 〃 〃 〃
昭和 6 2 年 3 月 2 6 日	<ol style="list-style-type: none">1. 昭和 6 2 年度収支予算書承認の件2. 昭和 6 2 年度事業計画案承認の件	承 認 〃

収 支 計 算 書

自 昭和61年4月1日
至 昭和62年3月31日

I 収支計算の部

(単位:円)

1) 収入の部						
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異 (△)	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
1. 基本財産等運用収入	利 息 収 入		13,212,695	13,581,018	△ 368,323	
2. 寄付金収入			0	0		
3. 奨学貸与金回収収入			0	2,546,500	△2,546,500	
前期繰越収支差額			62,543,176	62,543,176	0	
収 入 合 計			75,755,871	78,670,694	△2,914,823	
2) 支出の部						
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異 (△)	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
1. 管 理 費	(1) 人 件 費		(1,100,000)	(750,000)	(325,000)	
	(2) 消 耗 費		(1,100,000)	(354,620)	(745,380)	
	消 耗 品 費		100,000	1,690	98,310	
	図 書 印 刷 費		600,000	149,760	450,240	
	通 信 運 搬 費		200,000	113,500	86,500	
	旅 費 交 通 費		100,000	30,070	69,930	
	雑 費		100,000	59,600	40,400	
	(3) 会 議 費		(250,000)	(189,624)	(60,376)	
	役 員 会 費		150,000	150,000	0	
	そ の 他		100,000	39,624	60,376	
2. 事 業 費	(4) 一 般 諸 経 費		(200,000)	(86,800)	(113,200)	
	租 税 公 課		150,000	74,000	76,000	
	保 険 料		50,000	12,800	37,200	
	(5) 雑 費		(500,000)	(372,285)	(127,715)	
	(1) 奨学貸与金		(16,800,000)	(5,790,000)	(11,010,000)	
(2) 入学金貸与金		(2,000,000)	(500,000)	(1,500,000)		
(3) 学生補導費		(100,000)	(0)	(100,000)		
(4) 教育集会費		(1,000,000)	(0)	(1,000,000)		
(5) 就職斡旋費		(100,000)	(0)	(100,000)		
(6) 憩の家運営費		(1,000,000)	(145,600)	(854,400)		
(7) 青年の船事業費		(2,500,000)	(1,095,200)	(1,404,800)		
3. 予 備 費			(200,000)	(0)	(200,000)	
4. 次期繰越収支差額			(48,905,871)	(69,861,565)	(△20,455,694)	
支 出 合 計			75,755,871	78,670,694	△ 2,914,823	

Ⅱ 正味財産計算の部

(単位：円)

1) 増加の部											
勘定科目		決算額	備考								
大科目	中科目										
資産増加額	奨学貸与額	3,960,000									
	入学資金貸与額	500,000									
	基本財産金銭信託増加額	580,000									
負債減少額		0									
基本金減少額		0									
前期繰越増減差額		56,659,850									
増加額合計		61,699,850									
2) 減少の部											
勘定科目		決算額	備考								
大科目	中科目										
資産減少額	奨学貸与金戻入額	} 2,546,500									
	入学資金貸与金戻入額										
	基本財産未収入金減少額		580,000								
	青年の船事業費前払金減少額		1,296,600								
負債増加額		0									
基本金増加額		0									
減少額合計		4,423,100									
次期繰越増減差額		57,276,750									
剰余金合計		126,638,315	<table border="0"> <tr> <td>{</td> <td>次期繰越増減差額</td> <td>57,276,750</td> <td>}</td> </tr> <tr> <td>{</td> <td>次期繰越収支差額</td> <td>69,361,565</td> <td>}</td> </tr> </table>	{	次期繰越増減差額	57,276,750	}	{	次期繰越収支差額	69,361,565	}
{	次期繰越増減差額	57,276,750	}								
{	次期繰越収支差額	69,361,565	}								

貸 借 対 照 表

昭和62年3月31日現在

1. 資 産 の 部

(単位:円)

勘 定 科 目		摘 要	金 額			
大 科 目	中 科 目		基 本 金		そ の 他 資 産	計
			基本財産	運用財産		
流 動 資 産	現 金	手 許 在 高			79,886	79,886
	預 貯 金	(定期預金)				
		住友銀行 佐野支店			1,000,000	
		(普通預金)				
		住友信託銀行 阪急梅田支店			4,343,070	
		〃 難波支店			1,090,808	
		富士銀行 〃			36,207	
		三和銀行 〃			2,054,141	
		大和銀行 〃			539,141	
		住友銀行 〃			181,048	
		〃 佐野支店			169,508	
		京都銀行 口大野支店			55,066	
		(当座預金)				
		住友信託銀行 阪急梅田支店			8,250	
		(貸付信託)				
住友信託銀行 阪急梅田支店			53,300,000			
(金銭信託)						
住友信託銀行 阪急梅田支店			5,000,000			
〃 難波支店			447,810			
振替預金			576,630	68,801,679		
流 動 資 産 合 計				68,881,565	68,881,565	
有 形 固 定 資 産	土 地	京都府中郡大宮町字奥大野 553 - 1 宅地 367.27㎡ S.46.5.27 取得	249,975			
		同 上 山林 185㎡ 〃 553 - 2	2,219			
		同 上 山林 42㎡ 〃 554	467			
		同 上 小字平太郎18 山林 697㎡ 〃	7,143			
		(土地小計)				(259,804)
	建 物	京都府中郡大宮町字奥大野 553 - 1 木造亜鉛メッキ鋼板 居宅 平家建 49.26㎡	3,575,120			
		(建物小計)				(3,575,120)
有 形 固 定 資 産 合 計			3,834,924		3,834,924	
そ の 他 の 固 定 資 産	未 収 入 金 金 銭 信 託 貸 付 信 託	吉岡幸徳氏	7,215,274			7,215,274
		住友信託銀行 阪急梅田支店	3,954,000			3,954,000
		〃 〃	96,424,880	59,300,000		
		〃 〃	9,600,000	3,575,120		
	〃 難波支店			1,120,000	480,000	170,500,000
奨 学 貸 与 金	入学金貸与額を含む			57,276,750	57,276,750	
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計			117,194,154	63,995,120	57,756,750	238,946,024
固 定 資 産 合 計			121,029,078	63,995,120	57,756,750	242,780,948
資 産 合 計			121,029,078	63,995,120	126,638,315	311,662,513

2. 負債の部

勘定科目		金額			
大科目	中科目	基本金		その他の資産	計
		基本財産	運用財産		
流動負債合計		0	0	0	0
固定負債合計		0	0	0	0
負債合計		0	0	0	0

3. 正味財産の部

勘定科目		金額			
大科目	中科目	基本金		その他の資産	計
		基本財産	運用財産		
基本金	基本財産	121,029,078			
	運用財産		63,995,120		185,024,198
剰余金	次期繰越収支差額			69,361,565	
	次期繰越増減差額			57,276,750	126,638,315
正味財産合計		121,029,078	63,995,120	126,638,315	311,662,513
負債及正味財産合計		121,029,078	63,995,120	126,638,315	311,662,513

-10-

財 産 目 録

区分	昭和62年3月31日			
	基本金		その他の資産	計
	基本財産	運用財産		
資産	121,029,078	63,995,120	126,638,315	311,662,513
負債	0	0	0	0
差引残高	121,029,078	63,995,120	126,638,315	311,662,513

(注) 内訳明細は貸借対照表に同じ

収支計算書総括表

自 昭和61年4月1日
至 昭和62年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計
基本財産等運用収入	13,581,018	13,581,018	0
寄附金収入	0	0	0
奨学貸与金回収収入	2,546,500	2,546,500	0
前期繰越収支差額	62,543,176	62,543,176	0
合 計	78,670,694	78,670,694	0

1. 支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計
管 理 費	1,778,329	1,778,329	0
事 業 費	7,530,800	7,530,800	0
予 備 費	0	0	0
次期繰越収支差額	69,361,565	69,361,565	0
合 計	78,670,694	78,670,690	0

貸借対照表 総括表

昭和62年3月31日現在

1. 資産の部

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計
流動資産合計	68,881,565	68,881,565	0
有形固定資産合計	3,834,924	3,834,924	0
その他の固定資産合計	238,946,024	238,946,024	0
固定資産合計	242,780,948	242,780,948	0
資産合計	311,662,513	311,662,513	0

2. 負債の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計
流動負債合計	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0

3. 正味財産の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計
基本金	185,024,198	185,024,198	0
剰余金合計	126,638,315	126,638,315	0
正味財産合計	311,662,513	311,662,513	0
負債及正味財産合計	311,662,513	311,662,513	0

監 査 報 告 書

昭和61年度決算書類等監査の結果、正確にして適法かつ妥当なことを認めます。

昭和62年5月8日

財団法人 川口交通遺児育英会

監 事 別 所 弘 嗣 ㊟

監 事 筒 井 陽 太 郎 ㊟

昭和62年度 事業計画書

1. 学生生徒に対する育英奨学金の貸与

貸与対象者を最低50名以上とし、100名の貸与者とすることを目標として募集を行なう。

(1) 奨学生数

(人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	計
高等学校奨学生	40	24 (11)	28 (9)			92 (20)
高等専門学校奨学生	3	2	2	1	0	8
計	43	26 (11)	30 (9)	1	0	100 (20)

⊕ 上表中()内の数字は、前年度より引き続きの人数

(2) 奨学金額等

(イ) 昭和58年4月以降に入学した者

	貸与金額	支給期間
高等学校奨学生	1人当り 月額15,000円	62年4月 ～63年3月
高等専門学校奨学生	1人当り 月額15,000円	62年4月 ～63年3月

(ロ) 昭和60年4月以降に入学した者

高等学校奨学生	1人当り 月額	{ 貸与7,500円 62年4月 給与7,500円 ～63年3月
高等専門学校奨学生	1人当り 月額	{ 貸与7,500円 62年4月 給与7,500円 ～63年3月

2. 学生生徒に対する入学資金の貸付・給付

(1) 入学資金の貸付

入学資金の貸付制度は昭和62年3月31日をもって打ち切れ、返還業務のみが継続される。

(2) 学生生徒に対する入学資金の給付

入学資金の給付は本年度より、1名100,000円を20名の給付者を目標として実施するが、すでに10名の予約申込者がある。

3. 寄附行為第4条第2号に定める事業

(1) 川口財団憩の家の運営

利用収容計画

時 期 7月中旬～8月下旬までの期間申込希望により

人員数 約10家族（1家族2名 2泊3日とする）

宿泊に要する費用及び交通遺児と保護者1名の旅費は当財団が負担。

天の橋立海水浴場並びに登山における事故負担について財団が免責できるように措置を採る。

運営並びに遺児の世話については、引続き瀬堂雅夫氏の全面的援助協力に依存する。

(2) 青少年キャンプの開催

精神的な面での援助や指導を必要とする生徒・児童を対象とする少年野外キャンプについては本年度も独自の実施は見合わせ、下記のとおり計画で行なわれる財団法人大阪交通災害遺族会のプロジェクトに協賛することとする。

期 日 昭和62年7月頃

場 所 久美浜キャンプ場

対 象 者 小学校高学年より高校生までの男女約100名

（当財団の奨学生たる高校生をグループリーダーとする。）

行事内容 ハイキング、アーチェリー、キャンプファイヤー等
目 的 野外活動に適應する能力と若干の技術の養成並びに団体
行動における責任感と協調性を養い、併せて明朗な生活
態度を身につけるようにする。

(3) J. O 青年の船への参加

次代を担う青年が国の内外において諸外国の青年と相互理解を深め、さらに広い視野と国際的な感覚を身につけることは、今日の国際化時代にふさわしく、極めて時代の要請に応え得るものであるとの観点から国際的な青年の育成と連帯を目指すことを目的として、昭和62年6月17日(水)からグアム、香港をまわり6月29日(月)まで行なわれるJ. O青年の船の企画に続いて参加することとし、当財団の奨学金を受けて卒業した2名と、財団法人大阪交通災害遺族会の2名を推薦して参加乗船させることとした。

(4) 社会教育事業への参加

社会人になっている当財団O・B諸子に呼びかけ各種教養講座への受講を奨励し、その諸費用の全額を当財団が負担する。講座は当財団で選択して社会人としてふさわしい教養・技術等を身につけることのお手伝いをするものである。その手はじめとしてNHK文化センター主催のカルチャー講座への入会および受講を推進することとした。

収 支 予 算 書

自 昭和62年4月1日
至 昭和63年3月31日

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 収入の部				
1. 基本財産運用収入				
利息収入	11,394,738	13,212,695	△1,817,957	
当期収入合計	11,394,738	13,212,695	△1,817,957	
前期繰越収支差額	69,361,565	62,543,176	6,818,389	
収入合計	80,756,303	75,755,871	5,000,432	
II 支出の部				
1. 事業費				
(1) 奨学金貸与費	(16,800,000)	(16,800,000)	(0)	
(2) 入学金貸与費	(2,000,000)	(2,000,000)	(0)	
(3) 学生補導費	(100,000)	(100,000)	(0)	
(4) 教育集会費	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
(5) 就職斡旋費	(100,000)	(100,000)	(0)	
(6) 憩の家運営費	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
(7) 青年の船事業費	(2,000,000)	(2,500,000)	(△500,000)	
(8) 社会教育費	(500,000)	(0)	(500,000)	
2. 管理費				
(1) 人件費	(1,100,000)	(1,100,000)	(0)	
(2) 消耗費	(1,100,000)	(1,100,000)	(0)	
消耗品質	100,000	100,000	0	
図書印刷費	600,000	600,000	0	
通信運搬費	200,000	200,000	0	
旅費交通費	100,000	100,000	0	
雑費	100,000	100,000	0	
(3) 会議費	(250,000)	(250,000)	(0)	
役員会費	150,000	150,000	0	
その他	100,000	100,000	0	
(4) 一般諸経費	(200,000)	(200,000)	(0)	
租税公課	150,000	150,000	0	
保険料	50,000	50,000	0	
(5) 雑費	(500,000)	(500,000)	(0)	
3. 予備費	(200,000)	(200,000)	(0)	
当期支出合計	26,850,000	26,850,000	0	
当期収支差額	△15,455,262	△13,637,305	△ 1,817,957	
次期繰越収支差額	53,906,303	48,905,871	5,000,432	

収 支 予 算 書 総 括 表

自 昭和 62 年 4 月 1 日
至 昭和 63 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
I 収入の部			
基本財産運用収入	11,394,738	11,394,738	0
当期収入合計	11,394,738	11,394,738	0
前期繰越収支差額	69,361,565	69,361,565	0
収入合計	80,756,303	80,756,303	0
II 支出の部			
事業費	23,500,000	23,500,000	0
管理費	3,150,000	3,150,000	0
予備費	200,000	200,000	0
当期支出合計	26,850,000	26,850,000	0
当期収支差額	△15,455,262	△15,455,262	0
次期繰越収支差額	53,906,303	53,906,303	0